

1 国語に関する調査

【特長】

- 「書くこと」に関して、よく取り組めている様子が見られる。自分の意見をもって書くことができている。また、問題の条件に合わせて書くこともよくできており、高い正答率を示した。
- 漢字を文の中で正しく使うことがよくできている。これまでの学習をしっかり身に付けている様子が見られる。

【課題】

- 日常よく使われる敬語に関して、尊敬語の使い方は身に付いているが、丁寧語と謙譲語の区別と使い方については課題が見られる。
- 情報を図示して整理することに関して、大まかな要点をとらえることができているが、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することに課題が見られる。

2 算数に関する調査

【特長】

- これまで学習してきた内容について、基本的な計算力が定着している。粘り強く課題に取り組んできた成果と考えられる。
- 百分率で表された割合についての問いに関しては、高い正答率を示した。粘り強く問題を最後まで読み込む指導の成果と考えられる。

【課題】

- 情報量が多くなるとその中から必要な要素を見出し、正答につなげることに課題がある。また、正答を多数選ぶ問いや、説明の問題になると間違いが増える傾向がある。
- 図形の特徴を理解することに課題がある。これらを解決するために、早い段階から具体物の操作や自分の考えを表現する活動を通して図形の意味や性質について考察できるようにする必要があると考えられる。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。」と回答している児童の割合が高いことは、『学び合い』を通して友達と共に考え、話し合いをする場面を多くとり入れている成果と考えられる。
- ・5年生までに受けた授業に関する複数の問いから、学習への意欲やあきらめず学びに向かおうとする姿勢が感じ取られる。『学び合い』を中心として学習を積み重ねてきた成果と考えられる。

【課題】

- ・「自分にはよいところがある」と回答している児童の割合が低い。自分自身のがんばりや成果について自信がもてない傾向にある。クラス替えがない環境のため、異学年や他校の児童との交流を通して自信がもてるような働きかけを継続して行っていく必要がある。
- ・学校図書館や公共図書館の利用頻度が低く、読書をする時間が少ない傾向にあるので、読書に親しむ活動を充実させていく必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・『学び合い』を通じて友達と意見を交流し、自分の言葉で伝えたり、自分の考えを深めたりする姿勢が身についている。土屋小学校の学びの姿をこれからも継続していく。
- ・学年の発達段階に応じて「学習進行表」を作成し、学習のねらいや目標・評価場面を子どもたちに示していく。子どもたちが進行表を活用し、学習の見通しを立てたり、予習復習したりできるように支援していく。
- ・子どもたちが自分の長所や強みに目を向け伸ばしていくことができるようにするため、教職員は子どもたちを認め、励まし、褒めていく機会を増やす。
- ・学校目標である「全員が幸せになれる学校」を目指し、子どもたちが安心安全な学校生活を送れるよう、引き続き教職員がチームとなって子どもたちを見守っていく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・ご家庭のご協力もあり、「朝食をとる・決まった時刻で就寝や起床をする」など、基本的な生活習慣が身に付いています。その場に応じた適切な言葉遣いや挨拶ができるような声かけにつきましてもご協力をお願いいたします。
- ・子どもたちはICT機器の扱いに長けています。ご家庭でも携帯電話やゲーム機に触れる機会が多いと思いますが、使い方や利用時間等の約束をしてくださるようお願いいたします。
- ・学校創立150周年記念の様々な活動を通して、地域・学校・家庭の結びつきの深さを再認識しています。これからも子どもたちのため、ご理解ご協力をお願いいたします。